
黒猫通り

リッケン 6 2 0

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒猫通り

【Nコード】

N2797C

【作者名】

リッケン620

【あらすじ】

「罪を犯した人間は、必ず罰せられる。」黒猫が、どんどん人を裁いて行きます。

一話目・猫の眼

罪を犯した人間は、
必ず罰せられる。

黒猫の手によって。

くろねことお
黒猫通り

一話目・猫の眼 ねこまなこ

暗い夜道。
唯しんしんと、小雨が彼に、当たり砕ける。

（何人殺した・・・？ 俺は誰の血を欲した？）

人通りのない、寂れた商店街。
細い路地の壁に身を預けるは、櫻華 命美。
ふと彼は、近くにあった電柱に目をやった。

凶悪殺人犯・櫻華命美！！

此の顔に ピン！ ときたらずぐ通報

またが
俣賀市警察署

「凶悪殺人犯・・・はっ！ 笑えるな・・・」

鼻で一笑し、また壁にもたれる。

死人から奪い取ったセヴンストアに、
死人から奪い取ったライターで火を付ける。

（姉貴殺しから始まって、最後の最後は俺の前横切ったおっさんか・
・・・）

「何時から俺あ、変わったんだろうな・・・」

タバコの煙を一気に吐いて、そして。

煙の間から誰かが見えた。
遠い様で、また近い様で。

（察か・・・？）

キッと、眼を細ませた瞬間。

「ニャ」

黒い猫だ。

ギラギラと眼を光らせて、こつちを睨んでいる。
まるで命美を責め立てるかの様に。

「・・・猫か・・・おら、あっち行け」

たかが猫如きにビビってしまった自分が情けない。
苦し紛れの言い訳で、其の、黒い猫を追っ払おうとした。
だが。

「二」

付いて来いと、言ってるみたいで。

なんだか背筋に悪寒が走った。

でも何故か、そんな感覚に陥おちいってしまった彼は。

「・・・お前・・・俺の事助けようとしてんのか？」

まさか、幾いくらなんでも有りえない。

けれど追われる身の人間にとって、どんな事でも都合のいい様に捕
らえてしまうのであるから、仕方がない。

そして其そこ処で、黒い猫が後ろを向いて走り出したのだ。

「あつ、おい待て・・・！」

慌てて重い腰を上げ、命美は後を追いかけた。
救われる事など、有りえはしないのに。

一話目・猫の眼（後書き）

続きます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2797c/>

黒猫通り

2011年1月6日14時28分発行